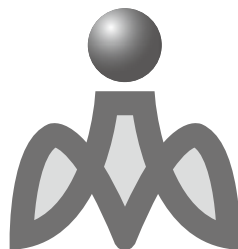


山 梨 県

商工会地区

中小企業景況調査報告書

〔令和8年1月～3月実績〕
〔令和8年4月～6月予測〕



未来に敏感、人が中心

山梨県商工会連合会

目 次

I 調 査 要 領	1
II 景 況	
1. 産業全体の業況概観	2
2. 製造業の動向	
(1) 景 況 概 観	3
(2) 主な項目で見る業況	3
3. 建設業の動向	
(1) 景 況 概 観	6
(2) 主な項目で見る業況	6
4. 小売業の動向	
(1) 景 況 概 観	9
(2) 主な項目で見る業況	9
5. サービス業の動向	
(1) 景 況 概 観	12
(2) 主な項目で見る業況	12

【I】 調 査 要 領

1. 調 査 対 象

(1) 対象地区 19商工会 (2) 対象企業数 165企業 (3) 回答企業数 164企業

2. 調査対象期間

第4四半期 令和8年1月～3月期 「調査時点：令和8年3月1日」

3. 調 査 方 法

県内の調査対象企業を19商工会の経営指導員等が訪問面接調査

4. 調査対象企業（モニター企業）の商工会別、業種内訳

商工会名	製 造 業	建 設 業	小 売 業	サービスマ業	計
都 留 市	3	2	3	4	12
山 梨 市	1	2	2	3	8
大 月 市	2	1	3	2	8
韮 崎 市	2	2	1	2	7
南アルプス市	3	2	4	6	15
北 杜 市	4	2	5	4	15
甲 斐 市	4	3	5	2	14
笛 吹 市	3	2	4	6	15
上 野 原 市	2	1	2	2	7
甲 州 市	3	1	2	3	9
中 央 市	2	1	2	1	6
市 川 三 郷 町	2	1	1	2	6
身 延 町	1	1	2	2	6
南 部 町	1	0	1	1	3
富 士 川 町	1	1	1	2	5
昭 和 町	1	1	3	3	8
西 桂 町	0	0	1	1	2
南 都 留 中 部	1	1	2	2	6
河 口 湖	1	1	6	5	13
計	37	25	50	53	165

5. そ の 他

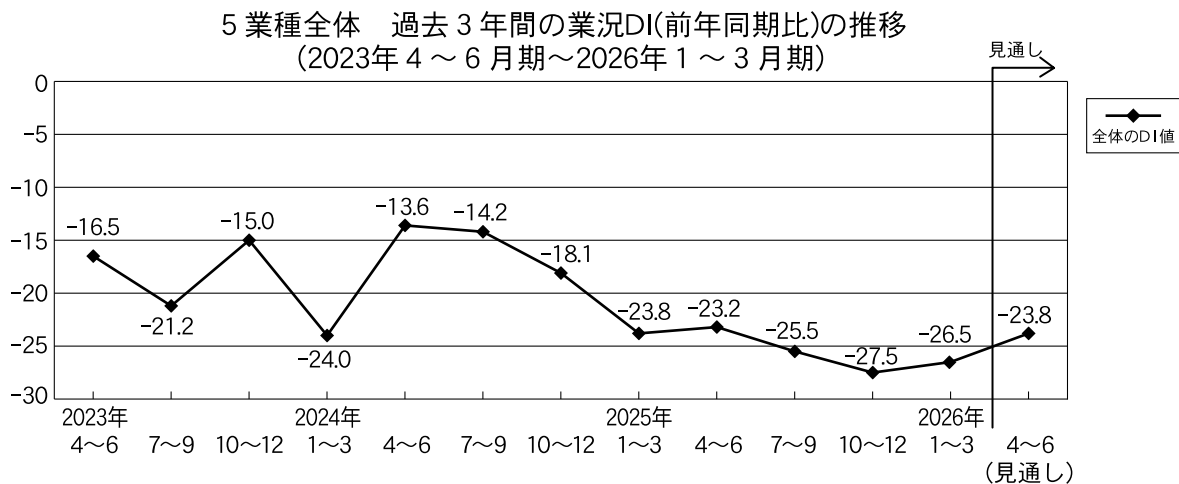
本報告書のDIとは、デフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について前年同期と比較して、増加（上昇、好転、長期化等）とする企業割合と、逆に減少（低下、悪化、短期化等）とする企業割合の差を示すものである。

【Ⅱ】 景 況

1. 産業全体の業況概観

本県における5業種全体の業況判断D I、及び、産業別の業況判断D Iについてみる。

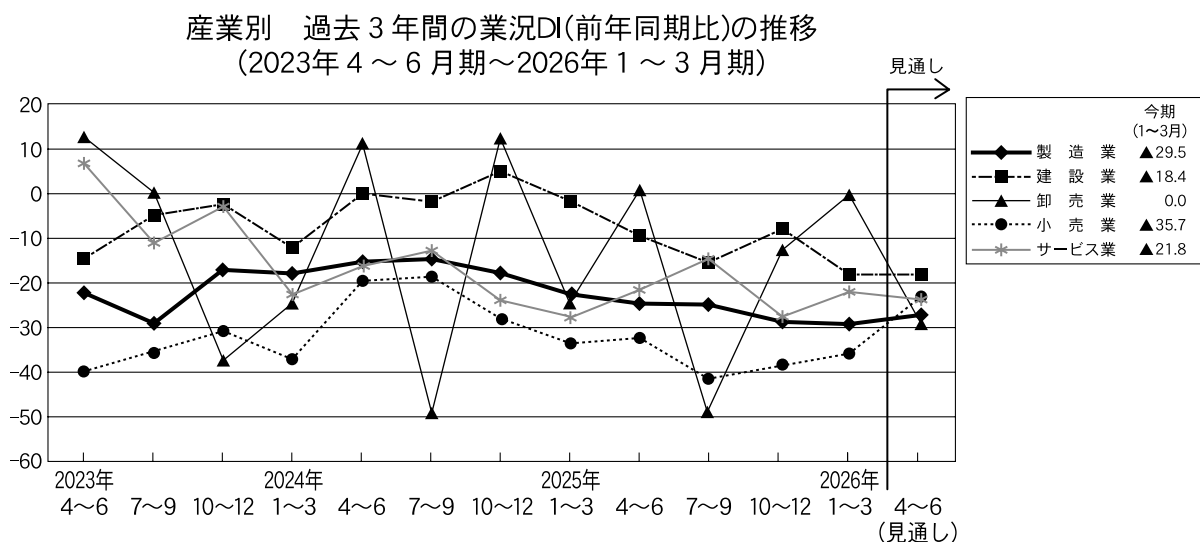
まず、前年同期比でみた過去3年間の5業種全体の業況判断D Iである。今期の業況判断D I（前年同期比）は▲26.5であり、前期比で1.0ポイント改善している。また、来期についても▲23.8へと改善の見通しとなっている。



次に、前年同期比でみた過去3年間の産業別の業況判断D Iである。

製造業は▲29.5で前期比▲0.7ポイント、建設業が▲18.4で前期比▲10.5ポイント、卸売業が±0で前期比+12.5ポイント、小売業が▲35.7で前期比+2.4ポイント、サービス業が▲21.8で前期比+6.0ポイントであった。

来期は、製造業、小売業が改善の見通しで、建設業は今期同様、卸売業、サービス業は悪化の見通しとなっている。



【注記】 上記、産業全体の業況概観については、商工会調査対象164企業に甲府・富士吉田地域等からの106企業を含めた270サンプルを使用。卸売業については、中小企業基盤整備機構調査によるデータのみを使用。次ページからの産業別景況D Iについては、商工会地区企業のサンプル分析に基づくものである。

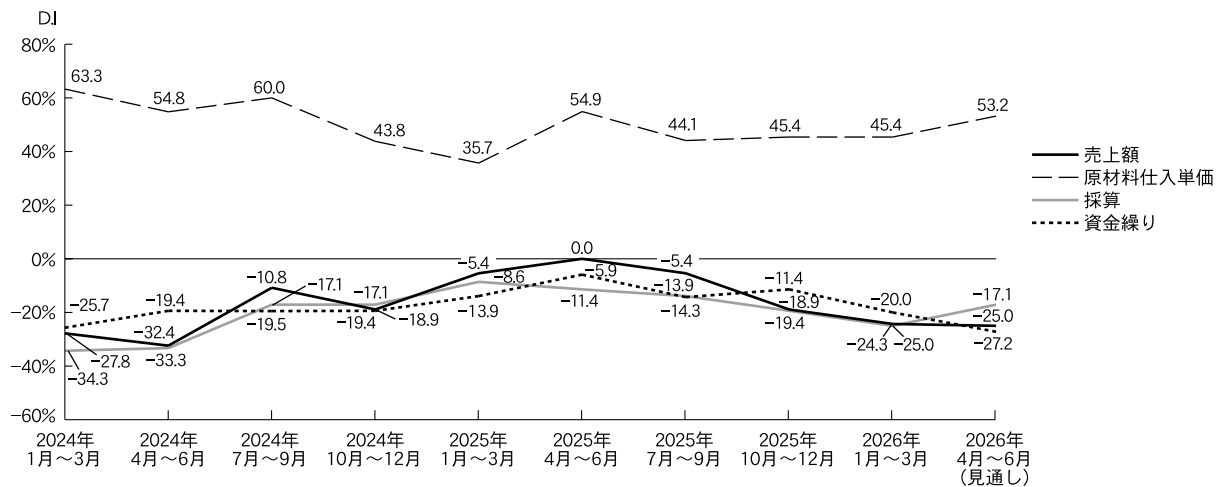
2. 製造業の動向

(1) 景況概観

売上額D Iは、今期▲24.3と前期比で5.4ポイント悪化し、来期も▲25.0へ悪化の見通し。原材料仕入単価D Iは、今期45.4と前期から変化無く、来期は53.2へ上昇（悪化）の見通し。採算D Iは、今期▲25.0と前期比で5.6ポイント悪化した、来期は▲17.1へ改善の見通しである。資金繰りD Iは、今期▲20.0と前期比で8.6ポイント悪化し、来期はさらに▲27.2へ悪化の見通しである。

今期は原材料仕入単価D Iが変化なしであったものの、その他の各D Iは全て悪化。来期は採算D Iのみが改善、その他の各D Iは悪化の見通しである。

山梨県 製造業 主要景況項目の推移－前年同期比－



(2) 主な項目でみる業況

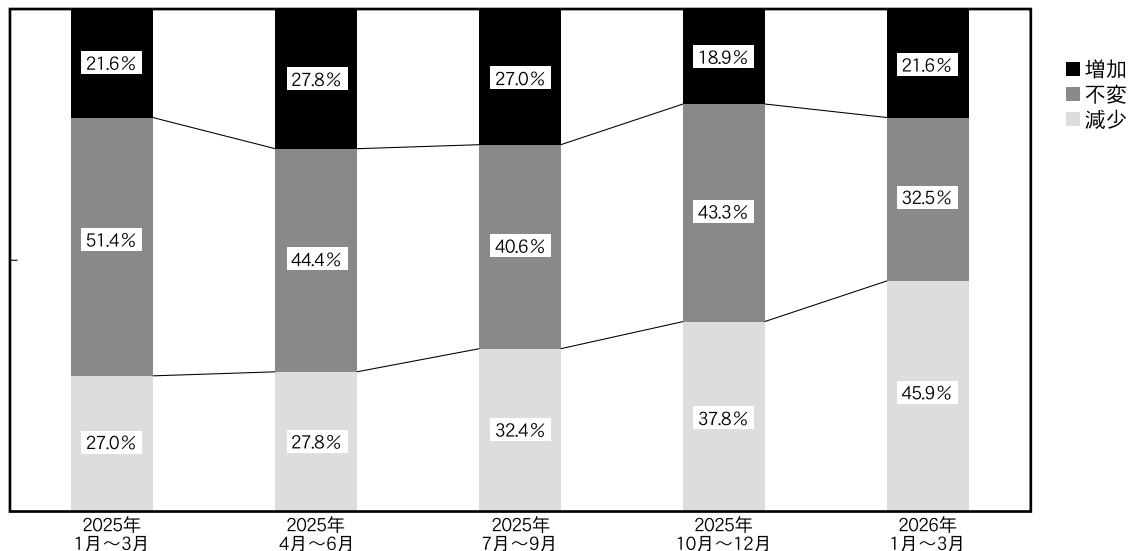
① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数37社））

「増加」と答えた企業の割合は、21.6%（8社）に増加（前期比+1社）している。

「不変」は32.5%（12社）に減少（前期比▲4社）し、

「減少」は45.9%（17社）に増加（前期比+3社）している。

山梨県 製造業 売上額の状況－前年同期比－



② 採算（採算D I の内容（回答企業数36社））

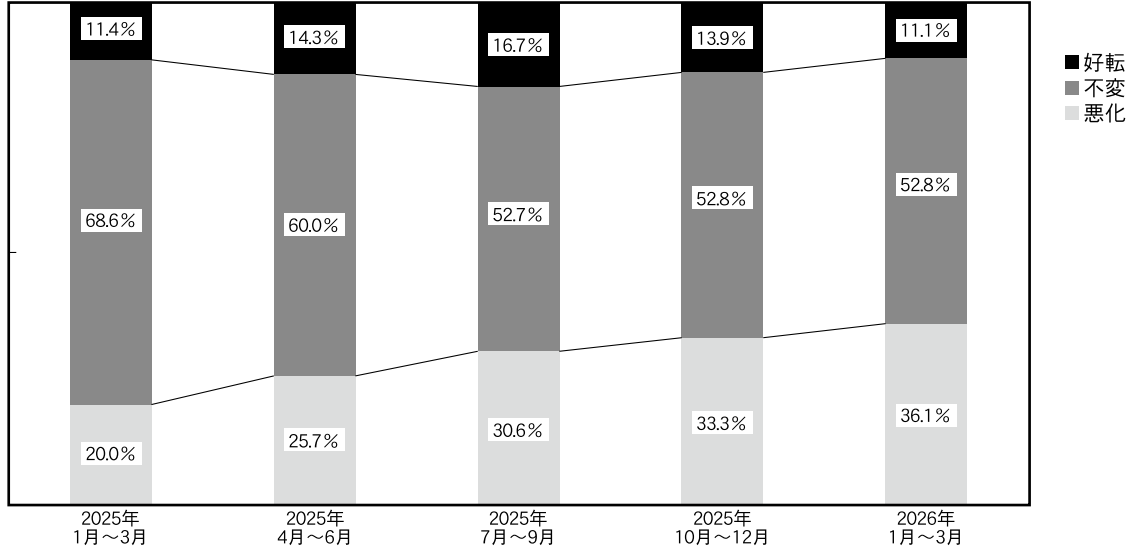
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、11.1%（4社）に減少（前期比▲1社）している。

「不変」は52.8%（19社）で前回と変化なし、

「悪化」は36.1%（13社）に増加（前期比+1社）している。

山梨県 製造業 採算の状況－前年同期比－

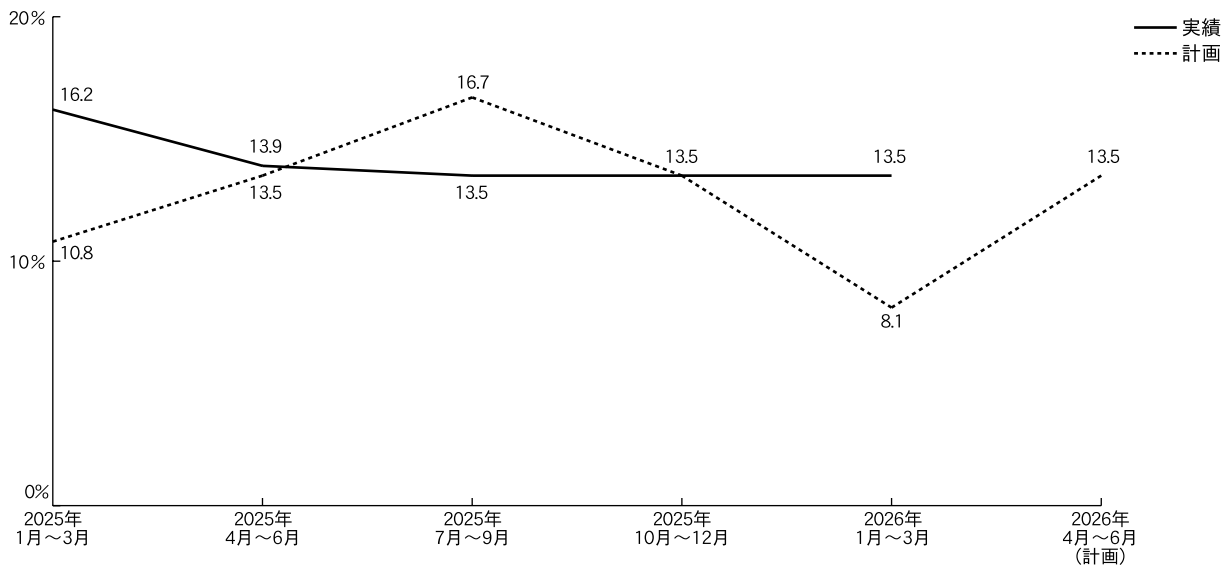


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数37社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は13.5%（5社）であった。その設備投資の内容は、「OA機器」が3件、「車両・運搬具」が2件、「生産設備」「福利厚生施設」が1件ずつであった。

来期の計画についても13.5%（5社）の企業が予定している。その設備投資の内容は「生産設備」が3件、「付帯施設」「OA機器」が2件ずつ、「土地」「工場建物」「車両・運搬具」が1件ずつである。

山梨県 製造業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数31社）

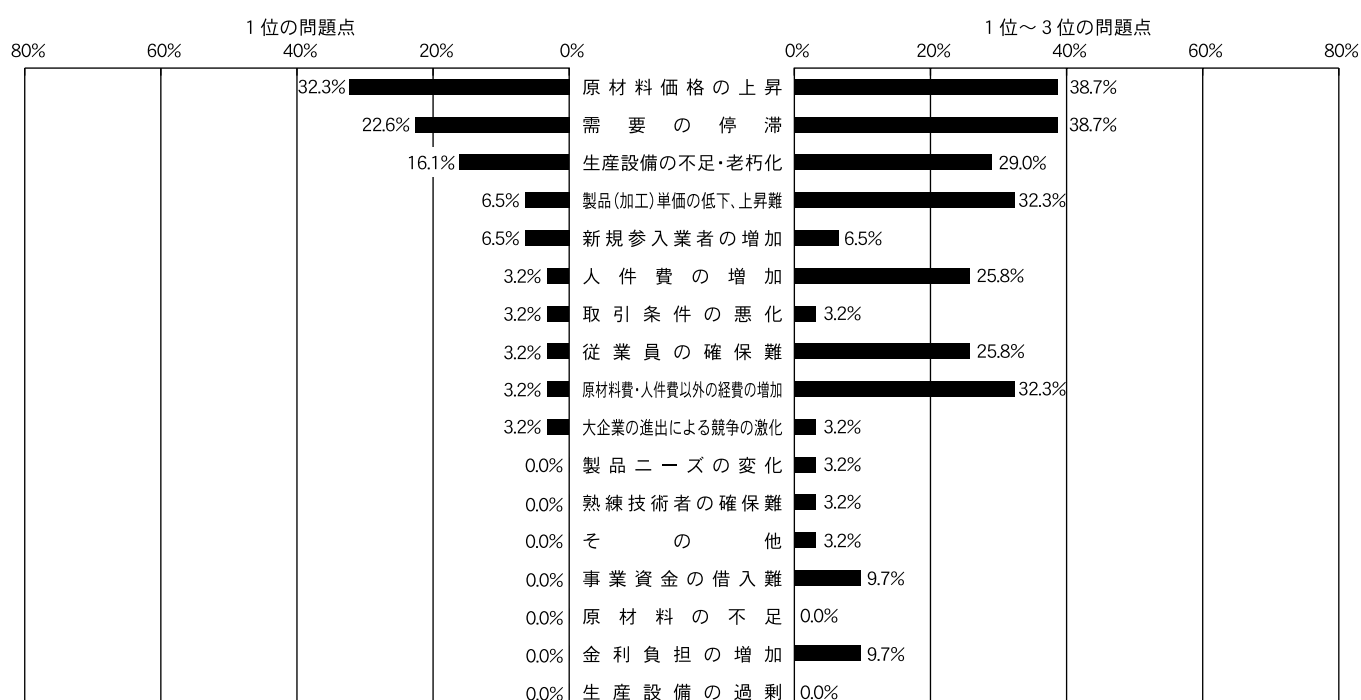
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「原材料価格の上昇」の32.3%（10社）であり、2番目は「需要の停滞」の22.6%（7社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは「原材料価格の上昇」と「需要の停滞」とが、同率の38.7%（12社）であった。

山梨県 製造業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
食料品製造業	5	13.5
飲料・飼料・たばこ製造業	1	2.7
印刷・同関連業	2	5.4
化学工業	1	2.7
プラスチック製品製造業	3	8.1
金属製品製造業	3	8.1
一般機械器具製造業	13	35.2
電気機械器具製造業	2	5.4
精密機械器具製造業	1	2.7
その他製造業	6	16.2
合計	37	100.0

従業員規模別

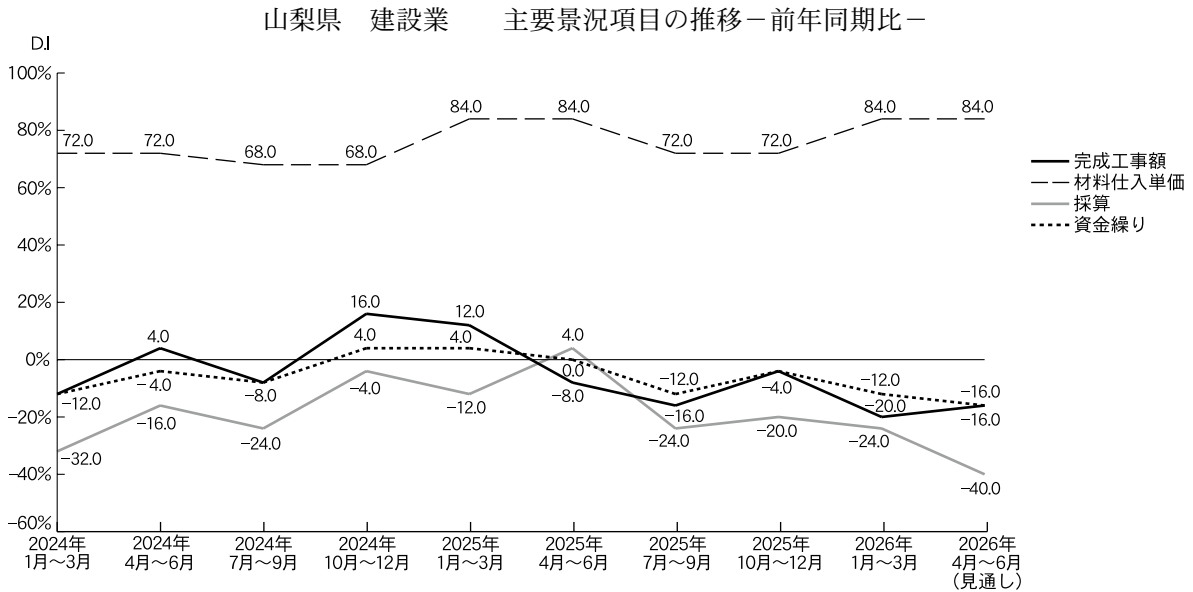
従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い	臨時等含む	常雇い	臨時等含む
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	19	51.4	16	43.3
3人～5人以下	9	24.3	7	18.9
6人～10人以下	6	16.2	10	27.0
11人～20人以下	3	8.1	4	10.8
合計	37	100.0	37	100.0

3. 建設業の動向

(1) 景況概観

完成工事額DIは、今期▲20.0と前期比で16.0ポイント悪化したが、来期は▲16.0へ改善の見通し。材料仕入単価DIは、今期84.0と前期比で12.0ポイント上昇（悪化）し、来期も84.0の見通しである。採算DIは、今期▲24.0と前期比で4.0ポイント悪化し、来期はさらに▲40.0へ大きく悪化の見通し。資金繰りDIも、今期▲12.0と前期比で8.0ポイント悪化し、来期も▲16.0へ悪化の見通しである。

今期は各DIが全て悪化した。来期は完成工事額DIが改善、採算DI、資金繰りDIが悪化の見通しとなっている。



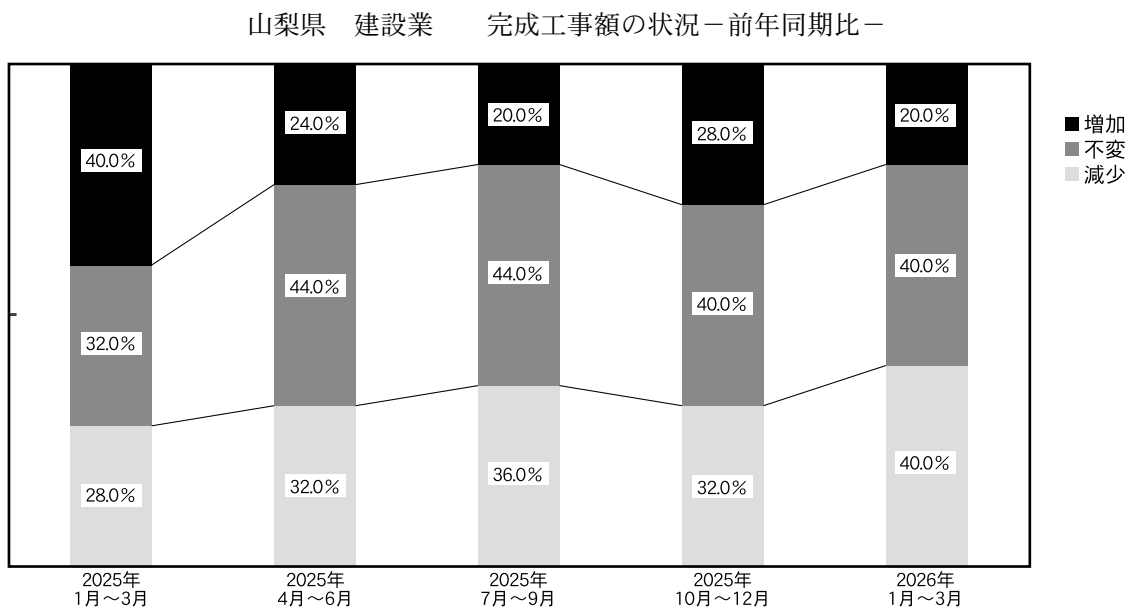
(2) 主な項目で見る業況

① 完成工事額（完成工事額DIの内容（回答企業数25社））

「増加」と答えた企業の割合は、20.0%（5社）に減少（前期比▲2社）している。

「不変」は40.0%（10社）で前回と変化なし、

「減少」は40.0%（10社）に増加（前期比+2社）している。

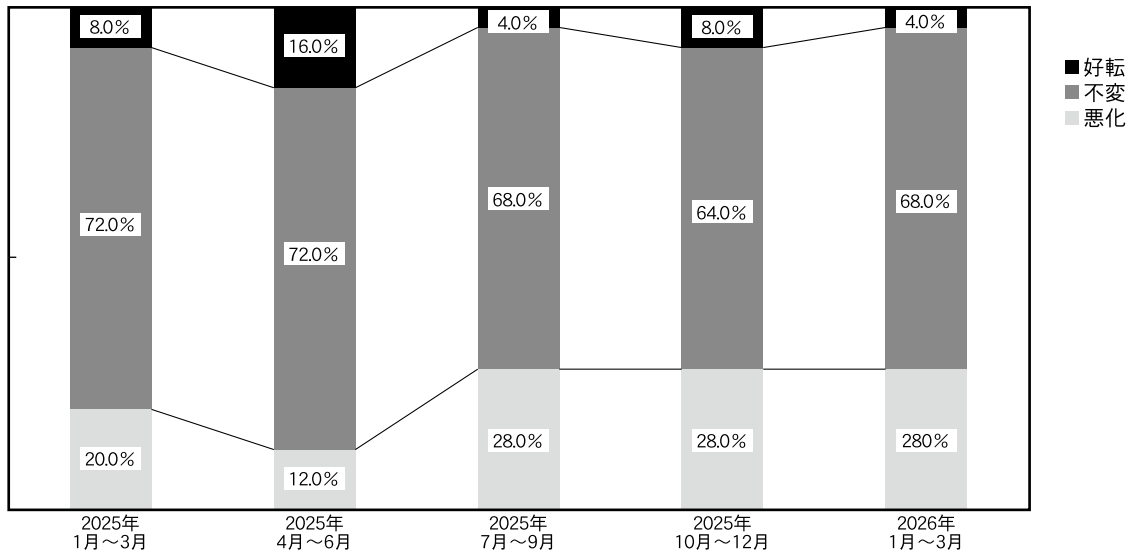


② 採算（採算D I の内容（回答企業数25社））

※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、4.0%（1社）に減少（前期比▲1社）している。
 「不変」は68.0%（17社）に増加（前期比+1社）し、
 「悪化」は28.0%（7社）で前回と変化なし。

山梨県 建設業 採算の状況－前年同期比－

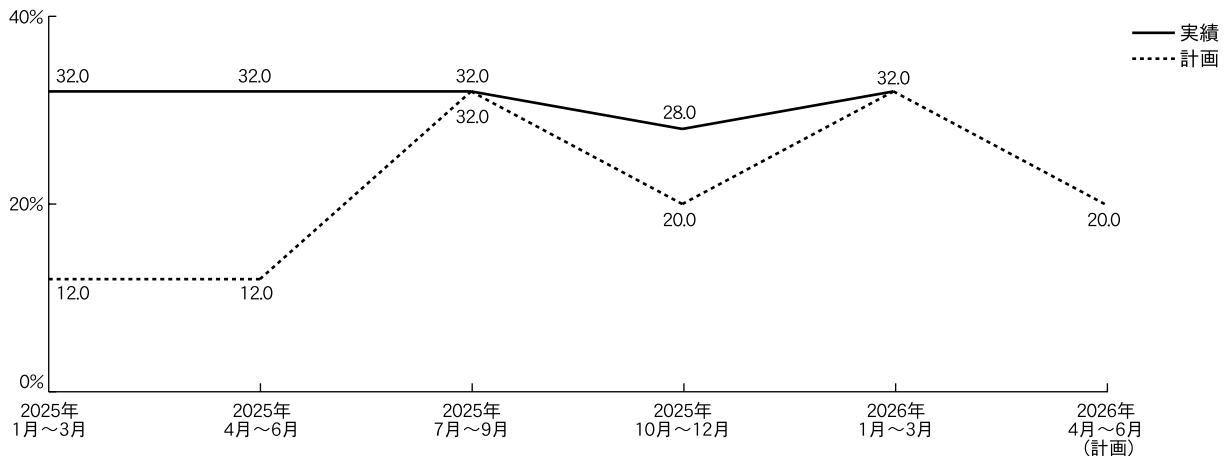


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数25社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は32.0%（8社）であった。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」が4件、「OA機器」が3件、「土地」が2件、「建物」「建設機械」が1件ずつであった。

来期の計画については、20.0%（5社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「OA機器」が3件、「建設機械」が2件、「土地」「車両・運搬具」が1件ずつになる。

山梨県 建設業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数24社）

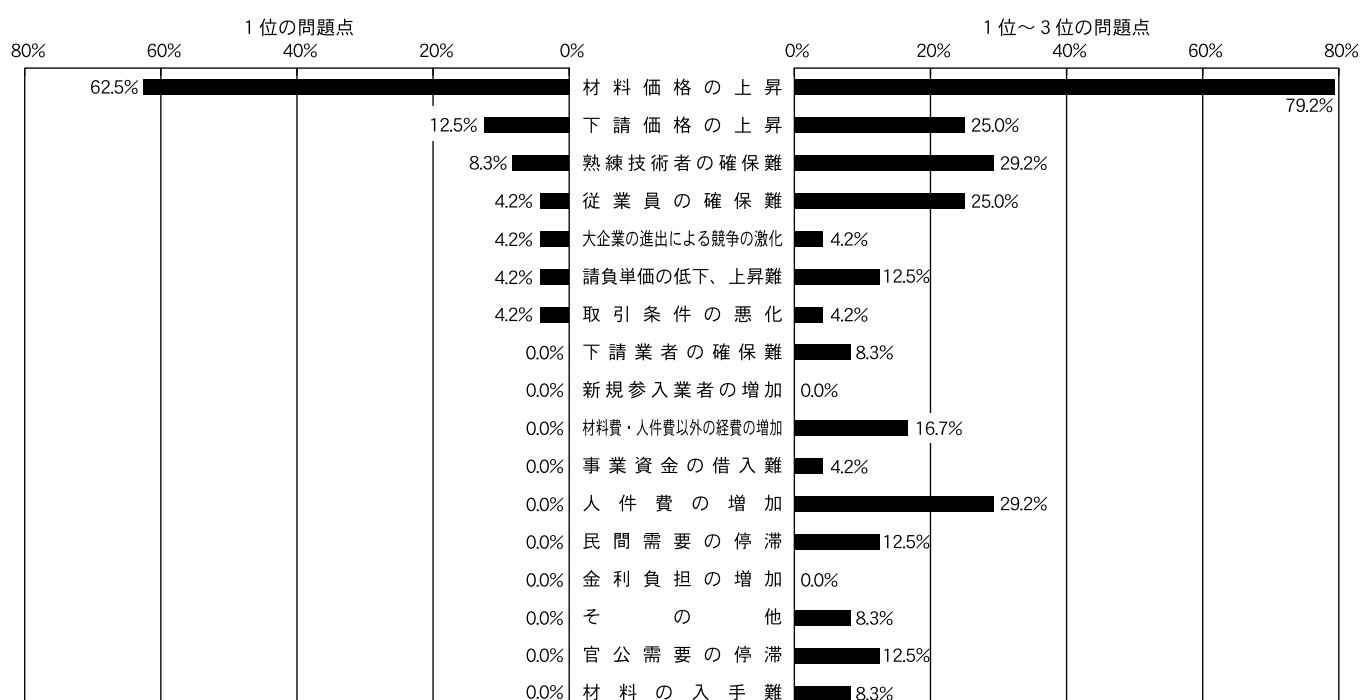
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「材料価格の上昇」の62.5%（15社）で、20期連続。2番目に多かったのは「下請単価の上昇」の12.5%（3社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

こちらでも、1番目に多かったのは「材料価格の上昇」の79.2%（19社）であるが、2番目に多かったのは「人件費の増加」と「熟練技術者の確保難」の29.2%（7社）であった。

山梨県 建設業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
総合工事業	19	76.0
職別工事業	4	16.0
設備工事業	2	8.0
合計	25	100.0

従業員規模別

従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い			
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	9	36.0	8	32.0
3人～5人以下	6	24.0	7	28.0
6人～10人以下	5	20.0	5	20.0
11人～20人以下	5	20.0	5	20.0
合計	25	100.0	25	100.0

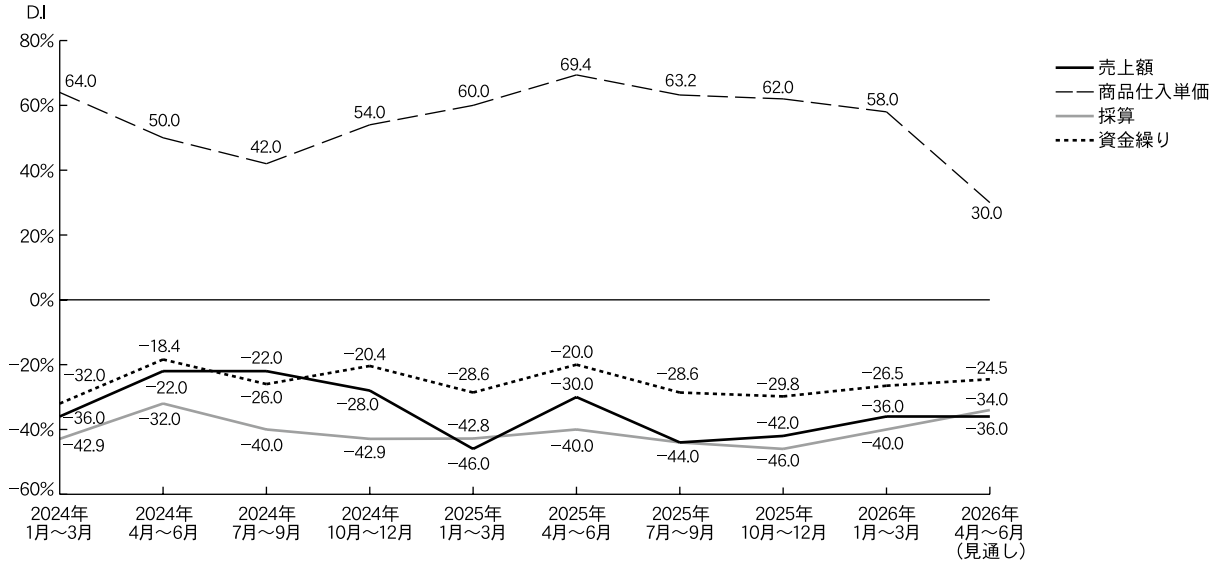
4. 小売業の動向

(1) 景況概観

売上額D Iは、今期▲36.0と前期比で6.0ポイント改善し、来期も▲36.0の見通しである。商品仕入単価D Iは、今期58.0と前期比で4.0ポイント下降（改善）し、来期も30.0へ下降（改善）の見通し。採算D Iも、今期▲40.0と前期比で6.0ポイント改善し、来期も▲34.0へ改善の見通し。資金繰りD Iも、今期▲26.5と前期比で3.3ポイント改善し、来期も▲24.5へ改善の見通しである。

今期は各D Iが全て改善した。来期は売上額D Iが今期同様の見通しであるが、それ以外のD Iは全て改善の見通しである。

山梨県 小売業 主要景況項目の推移－前年同期比－



(2) 主な項目でみる業況

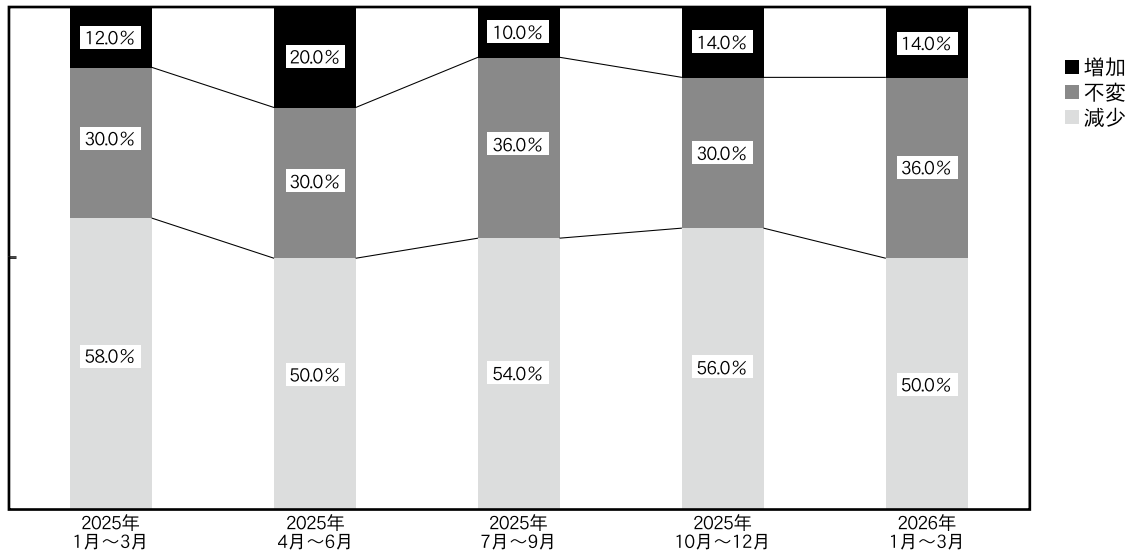
① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数50社））

「増加」と答えた企業の割合は、14.0%（7社）で前回と変化なしである。

「不変」は36.0%（18社）に増加（前期比+3社）し、

「減少」は50.0%（25社）に減少（前期比▲3社）している。

山梨県 小売業 売上額の状況－前年同期比－



② 採算（採算D I の内容（回答企業数50社））

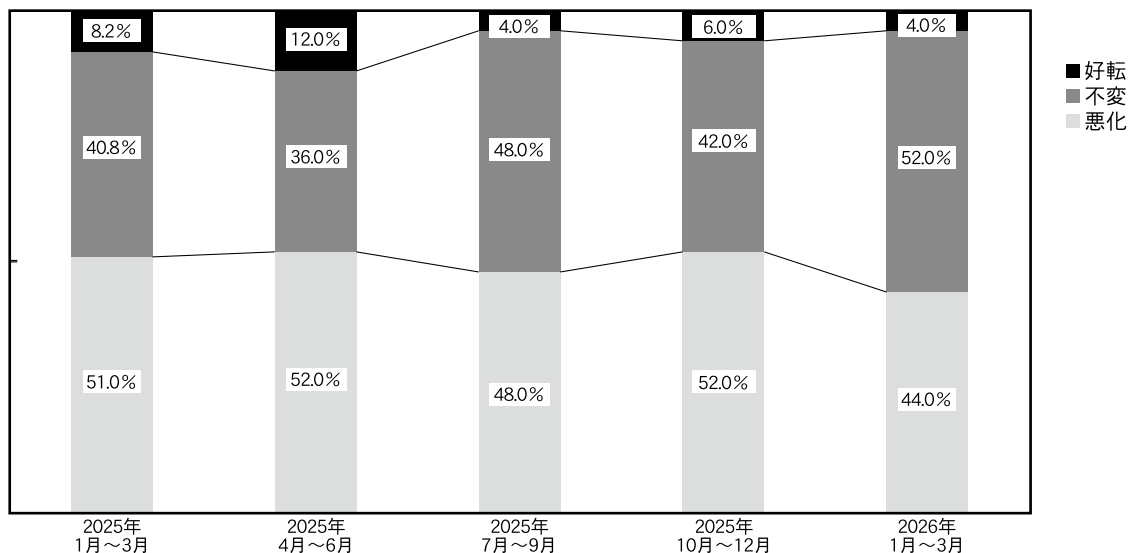
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、4.0%（2社）に減少（前期比▲1社）している。

「不変」は52.0%（26社）に増加（前期比+5社）し、

「悪化」は44.0%（22社）に減少（前期比▲4社）している。

山梨県 小売業 採算の状況－前年同期比－

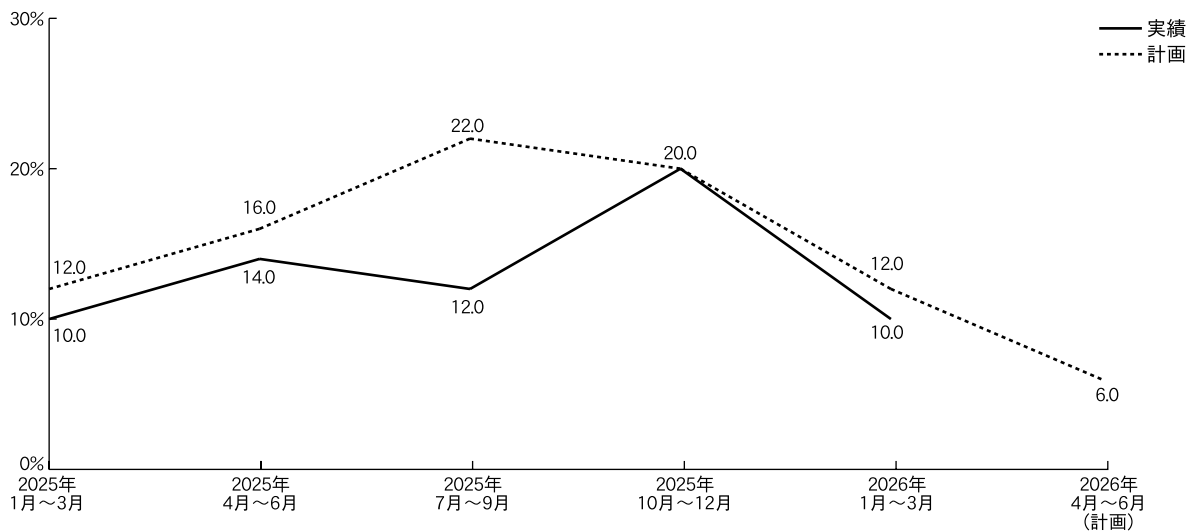


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数50社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は10.0%（5社）であった。その設備投資の内容は、「土地」「店舗」「付帯施設」「OA機器」「その他」が1件ずつであった。

来期の計画については、6.0%（3社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」が2件、「付帯施設」「その他」が1件ずつになる。

山梨県 小売業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数43社）

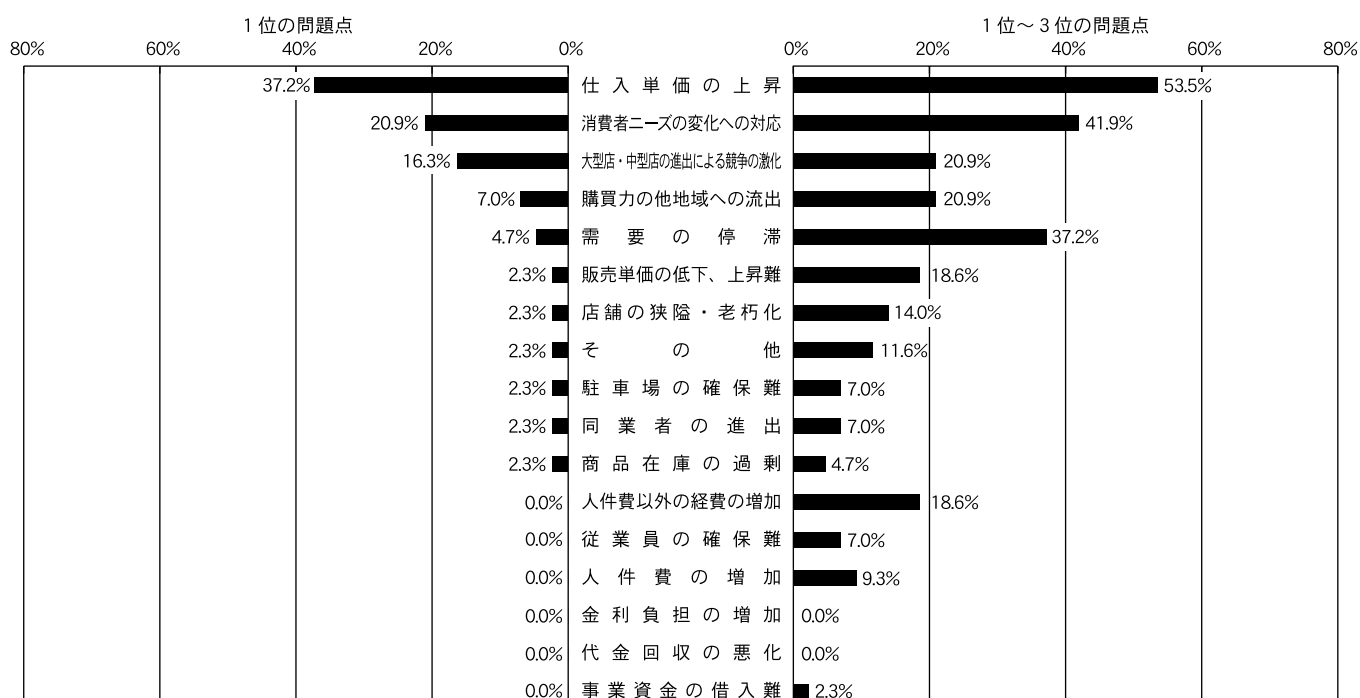
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「仕入単価の上昇」の37.2%（16社）であり、2番目は「消費者ニーズの変化」の20.9%（9社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

こちらも、1番目に多かったのは、「仕入単価の上昇」の53.5%（23社）であり、2番目も「消費者ニーズの変化」の41.9%（18社）であった。

山梨県 小売業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
織物・衣服・身の回り品小売業	11	22.0
飲食物品小売業	18	36.0
自動車・自転車小売業	2	4.0
家具・建具・じゅう器小売業	4	8.0
その他小売業	15	30.0
合計	50	100.0

従業員規模別

従業員数	雇用形態		従業員規模別	
	常雇い	臨時等含む	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	46	92.0	38	76.0
3人～5人以下	4	8.0	11	22.0
6人～10人以下	0	0.0	1	2.0
合計	50	100.0	50	100.0

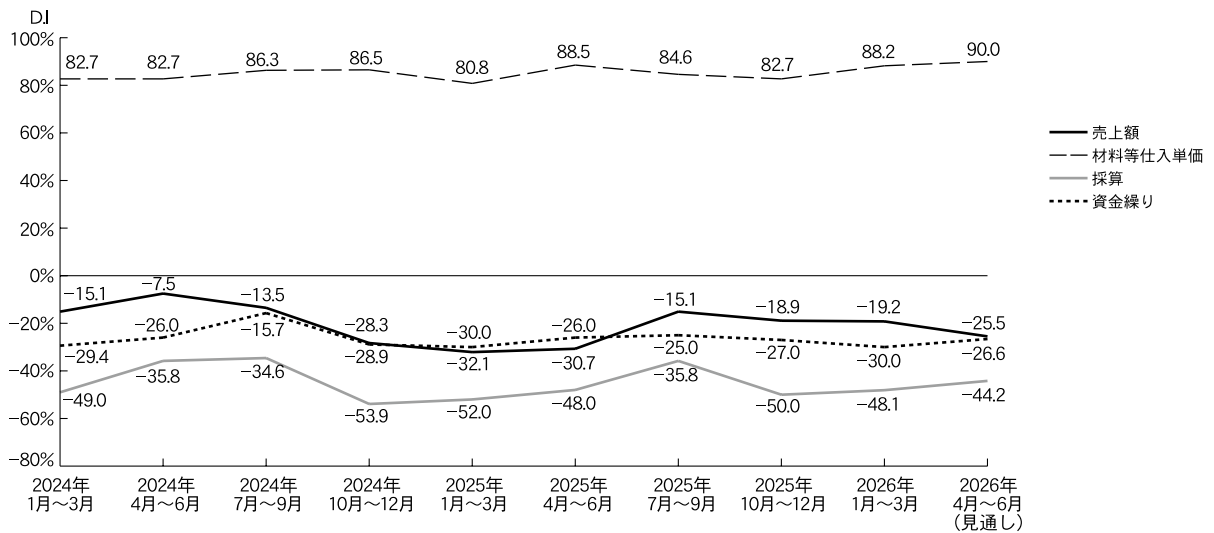
5. サービス業の動向

(1) 景況概観

売上額D Iは、今期▲19.2と前期比で0.3ポイント悪化し、来期も▲25.5へ悪化の見通し。材料等仕入単価D Iも、今期88.2と前期比で5.5ポイント上昇（悪化）し、来期も90.0へ上昇（悪化）の見通し。採算D Iは、今期▲48.1と前期比で1.9ポイント改善し、来期も▲44.2へ改善の見通し。資金繰りD Iは、今期▲30.0と前期比で3.0ポイント悪化したが、来期は▲26.6へ改善の見通しである。

今期は採算D Iのみが改善で、他の各D Iは全て悪化した。来期は採算D I、資金繰りD Iが改善の見通し、売上額D I、材料等仕入単価D Iは悪化の見通しである。

山梨県 サービス業 主要景況項目の推移－前年同期比－



(2) 主な項目でみる業況

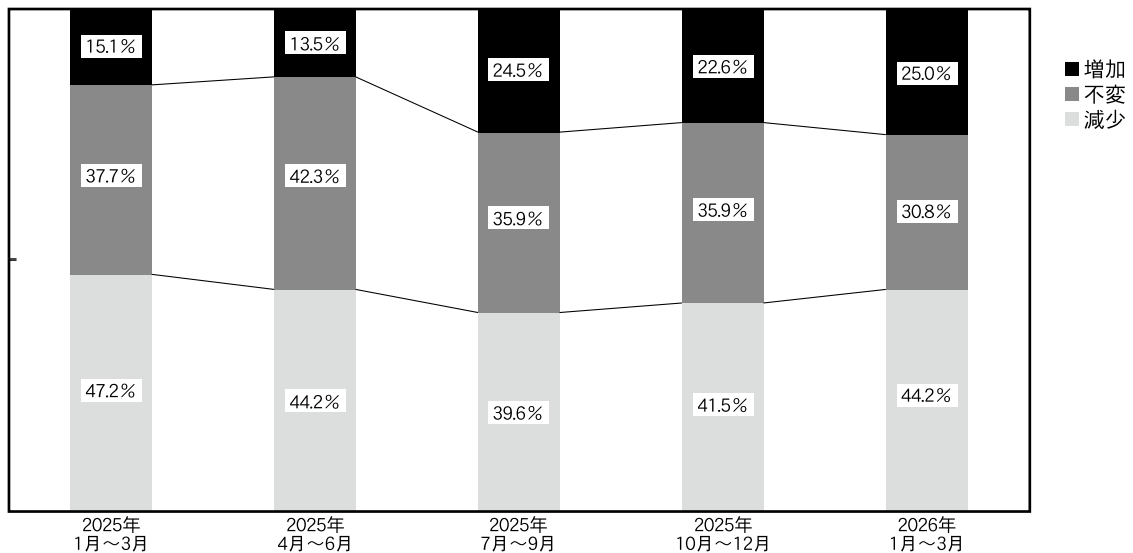
① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数52社（前回53社）））

「増加」と答えた企業の割合は、25.0%（13社）に増加（前期比+1社）している。

「不変」は30.8%（16社）に減少（前期比▲3社）し、

「減少」は44.2%（23社）に増加（前期比+1社）している。

山梨県 サービス業 売上額の状況－前年同期比－



② 採算（採算D I の内容（回答企業数52社））

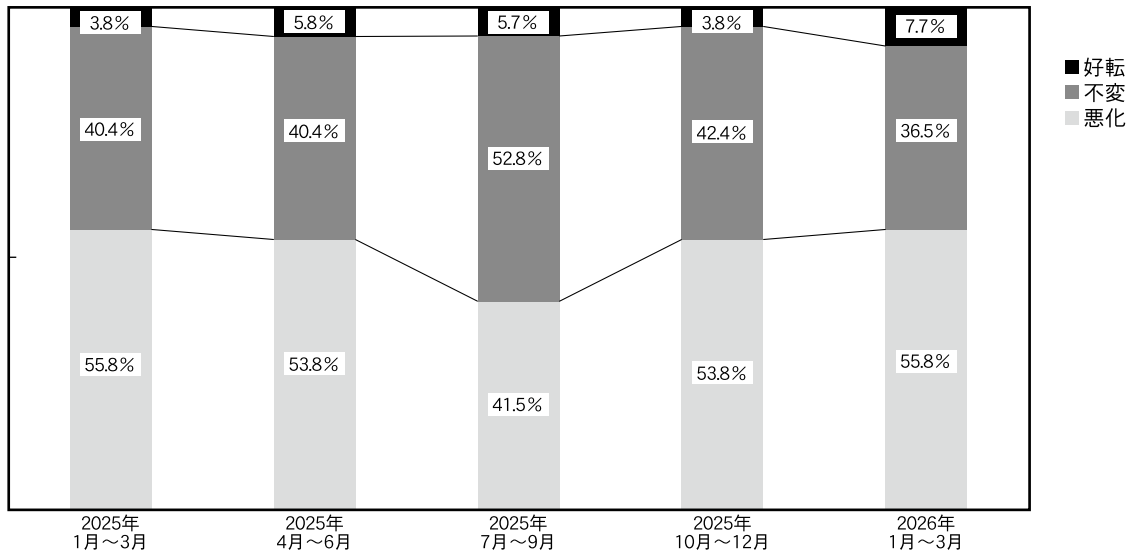
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、7.7%（4社）に増加（前期比+2社）している。

「不変」は36.5%（19社）に減少（前期比▲3社）し、

「悪化」は55.8%（29社）に増加（前期比+1社）している。

山梨県 サービス業 採算の状況－前年同期比－

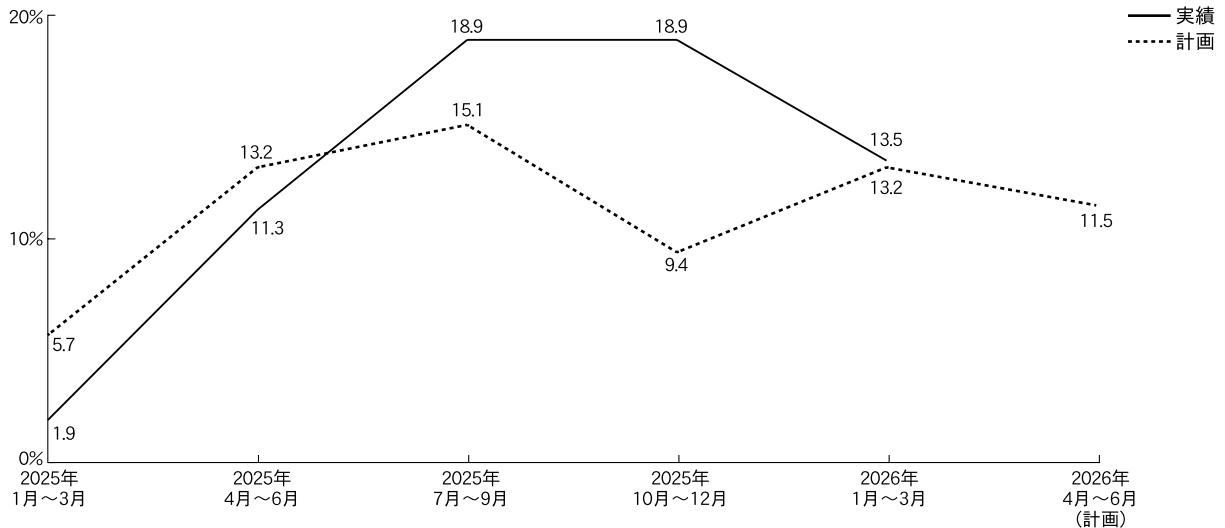


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数52社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は13.5%（7社）であった。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」が3件、「付帯施設」が2件、「建物」「サービス」「OA機器」が1件ずつであった。

来期の計画については、11.5%（6社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「サービス」が4件、「土地」「建物」「車両・運搬具」が1件ずつになる。

山梨県 サービス業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数43社）

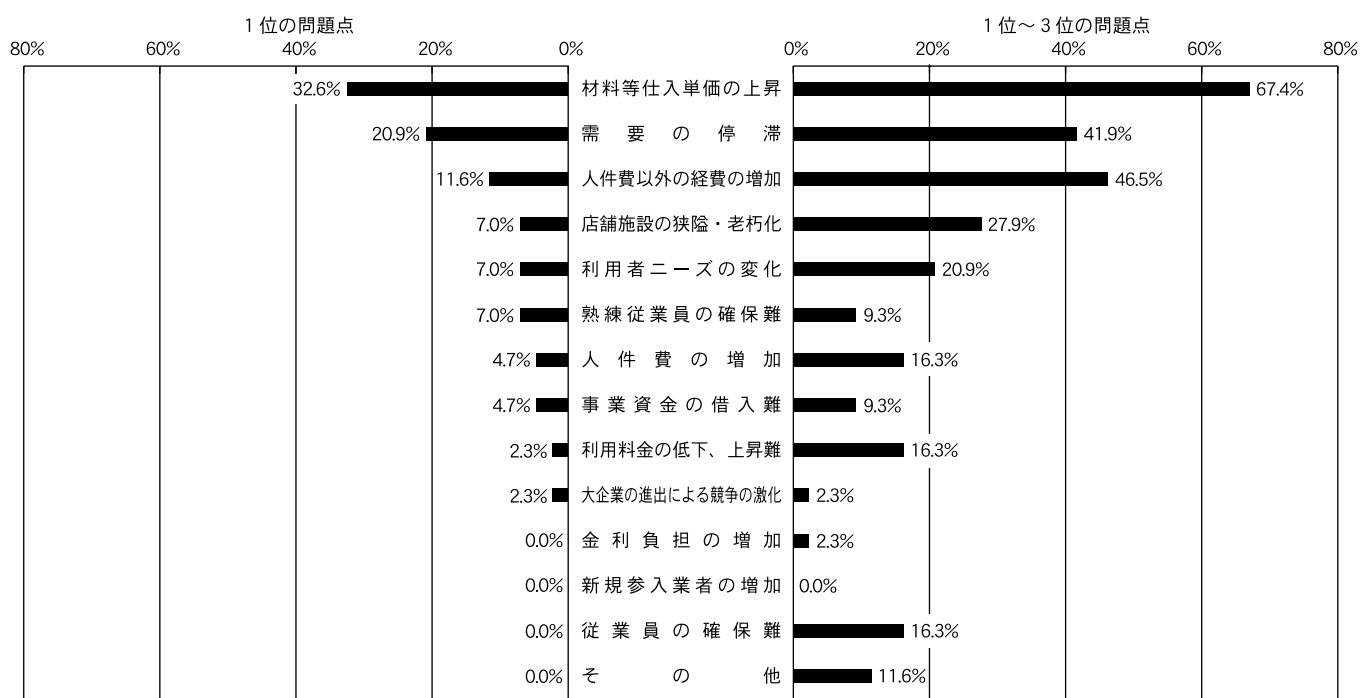
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「材料等仕入単価の上昇」の32.6%（14社）で、14期連続。2番目は「需要の停滞」の20.9%（9社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

こちらも、1番目に多かったのは「材料等仕入単価の上昇」の67.4%（29社）であるが、2番目は「人件費以外の経費の増加」46.5%（20社）であった。

山梨県 サービス業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
一般飲食店（一般・遊興）	19	36.5
宿泊業	6	11.6
運送業	1	1.9
自動車整備業	4	7.7
洗濯・理美容業	19	36.5
その他のサービス業	3	5.8
合計	52	100.0

従業員規模別

従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い			
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	44	84.6	37	71.2
3人～5人以下	8	15.4	10	19.2
6人～10人以下	0	0.0	3	5.8
11人～20人以下	0	0.0	2	3.8
合計	52	100.0	52	100.0